

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		運動指導員養成事業						予算事業名		運動普及推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法							
				04	01	03	2401	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）									重点事業					
		①健康づくりの推進							担当課係等		健康増進課					
1健康づくり活動の推進							健康増進係									
事業期間		継続（平成 7年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が日常的に運動し心身の健康を維持できるよう，運動の指導及び普及活動をし，地域での推進活動が充するボランティアを育成，養成する。								健康日本21（第二次）において，市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため，運動を普及し，地域における活動を展開していくことを目的として，運動普及推進員を平成7年度より養成開始となる。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
運動を通じた健康づくりを支援するため，運動普及推進員の養成及び運動普及推進員のスキルアップを支援する。 ・運動普及推進員養成講習会開催 ・運動普及推進員研修会実施								20歳以上の市民 ・運動の指導及び普及啓発に協力できる市民 ・運動普及推進員								
								【事業をとりまく環境の変化】 市民の健康づくりを支援するため，平成29年度第2次結城市健康増進計画が策定された。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								
・運動普及推進員研修会実施				・運動普及推進員研修会実施 ・運動普及推進員養成講習会開催				・運動普及推進員研修会実施								
■事業費																
				R01年度		R02年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	77	292									
歳入計（千円）				77		292										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	07	報償費			15		10									
	10	需用費			8		43									
	12	委託料			54		239									
歳出計（千円）（A）				77		292										
伸び率（％）						279.22										
備考	総合計画49ページ 予算書103ページ															

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	運動普及推進員養成講習会参加者数	人	目標	0.00	20.00	0.00
	地域での運動普及を推進するために運動普及推進員養成講習会参加者を増やす		実績	0.00	0.00	0.00
	運動普及推進員研修会参加者数	人	目標	280.00	250.00	400.00
	運動普及推進員としてのスキルアップを目指すための研修会開催		実績	205.00	0.00	0.00
成果 指標	運動普及推進員数	人	目標	58.00	49.00	49.00
	地域での運動を普及する運動普及推進員の人数		実績	29.00	0.00	0.00
	自主教室延べ実施回数		目標	110.00	90.00	90.00
	地域での運動普及のために、運動普及推進員が自主的に教室を実施した回数		実績	72.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民が気軽に運動を始めることをサポートする者を育成していく必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の健康のために運動を広める講師を育成するのは行政の役割である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的であり、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	運動普及推進員を育成するも、高齢化や休会者が出るなど推進員数の減少もあり、効率はよくない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	広く市民に周知し、運動普及推進員を目指す者が受講するものである。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	運動普及推進員を養成するも、高齢等に伴う退会・休会するものがあり、運動普及推進員会の拡大ができていない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	運動普及推進員を養成するも、高齢等に伴う退会・休会するものがあり、運動普及推進員会の拡大ができていない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
運動普及推進員が開催する教室などの参加者が増えるなど、市民の運動に対する要求は高いと考えるため、その指導者である運動普及推進員の養成をしていくことは必要であり、運動と同時に推進員についての周知も必要と考える。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
運動普及推進員の活動を広く市民に周知すると共に、教室等参加者の中から推進員となる人材を確保し養成を行っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 運動普及推進員を隔年で養成し地区組織活動につなげることで、地域における運動普及活動を継続する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	